

『電子アーカイブへのデータ登録に際して』

電子アーカイブへの登録により、皆様の貴重な経験が、皆様のお名前で公に登録され、国内外の関係者に広く検索され、共有されるようになります。学校のご校務等ご多様な折とは存じますが、皆様の思いが鮮明な時期に、情報を作成・整理下さり、ご登録下さいますよう、どうぞよろしくお願い致します。

① データ送付の送付先

送付先： 〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1
筑波大学教育開発国際協力研究センター「派遣現職教員サポート事業」係

② 隊員の皆様にお送り頂きたいもの 3点

(1) データ

電子アーカイブへの登録作業そのものは、本センターの派遣現職教員サポート事業が行います。皆様には、そこへ登録させて頂きたいデータの作成をお願い致します。

(2) データにつけるプロフィール

ご提供頂くデータを1件ずつ検索・利用しやすくするために、その登録データ内容に関するプロフィール情報（教材の概要、キーワード、執筆者への問い合わせ先など）を必ず添付下さい。

(3) データの一般公開に関する承諾書

国際教育協力のための拠点システム電子アーカイブによりインターネット上で一般公開することへの承諾書をデータに添付下さい。

その承諾内容：

- ・インターネット上で公開すること。
- ・また著作権は執筆者が保持するが、同時に情報倫理上の責務も負うこと。
- ・情報をアーカイブとして保有する機関（筑波大学教育開発国際協力研究センター）は必要に応じて情報の登録・抹消に関わる権利を有すること

※ 情報倫理（個人情報保護、肖像権、著作権）については以下のURLをご参照下さい。

<http://www.nicer.go.jp/ethics/>

上記 (2)(3)の用紙は添付いたしますが、以下のURLからもダウンロードできます。

<http://www.criced.tsukuba.ac.jp/jocv/irai/>

③ データとして作成をお願いしたい内容

隊員としての経験の記述は切り分けが難しいと思いますが、膨大な分量をデータとして入れると利用者側の利便性が損なわれてしまいます。そこで、アーカイブ登録されるデータは、情報をできるだけ“小分け”にしてご登録願えれば幸いです。例えば、以下 A,B,C の3つのデータ分類を示しますが、必ずしも A, B, C に1件ずつという訳ではなく、先生方ご自身で主題（例えば、「ホンジュラスの算数教科書事情」etc）を設けた上で、Aに2つの情報、Bに3つの情報、Cに1つの情報・・・というようにデータを各分類の中で更に小さく分けて作成して登録すると、閲覧される方が、目的に応じて検索し易くなります。

(A) 「今後役立つ現地教育事情」：日本の教育の特質と現地の状況を明確にするため、現地の教育の改善を計画され、実施する際などに参考になる内容です。現職で派遣される皆様は日本の教育経験をお持ちで、それとの対比で、現地の教育を考えることができます。

(例) 現地環境、現地の学校制度・教育課程、その実施状況、教科書、指導法、学力調査、日本との比較など教育の推進に関わる実態など、具体的な事例、事実、日本と比べての“びっくり体験”など。

(B) 「今後役立つ活動内容（職務内容）」及び「職務上得られた所産・教材」

後続の方が活動をはじめるときに直接役立つ教材等の参考資料を想定します。

(例) 教材プリント、指導案などの教育内容に関する情報、現地で使われる教科書の抜粋とその指導上の工夫などに関わる資料そのもの。

(C) 「自分なりに進めた活動の展開」と「自分の活動経験から導かれた教訓」

後続隊員が、皆様のご苦勞を自らの糧として役立てることが出来ます。

(例) 授業研究の展開モデルとして、ご自身の経験を時系列に沿って簡潔にまとめる。

当初、同僚（カウンターパート）の仕事のやり方に驚いた。例えば、…

最初の数ヶ月、自身の指導法をみてもらうように努めた。例えば、……。

次の数ヶ月、指導法を同僚と話し合う時間を設けた。

数ヶ月、・・・実際には、現地の同僚の対応は……。そこで、etc

④ データ作成上、ご確認願いたい点

以下よろしくご確認下さい。

①教材や現地情報などの資料や、経験の反省を踏まえた教訓などが、インターネット上での公開を前提に登録されます。帰国後の関係機関、所属組織への報告や御自身での発表の際にも、誰もが資料として参照できるようにデータをまとめて下さい。

②現職教員が日本の教育経験を生かして任地で実際に展開された活動や教材、成果としてまとめて下さい。将来、後に続く隊員が、同じような状況に直面したとき、助けとなるようなご苦勞に対する“ポジティブな教訓”としてのデータを期待しています。

③日本での教育経験を活かしつつ、現地向けに開発した教材であり、教職経験のない隊員にも参考になるように登録データをまとめて下さい。

④作成に際して、参考にした文献などでありましたら、資料の最後にお書き下さい。また、情報提供に謝辞を表す必要がございましたら、お書き下さい。

⑤お送り頂きたいデータの形式

お送り頂く情報は、登録するデータ容量：登録データ 1 件について 5 MB まででお願いします。

具体的には、

ア) 紙媒体でお送り頂く場合：

A4 サイズで 10 頁程度まで。

紙媒体をスキャナで読み込み、PDF 化する作業は、当方で行います。

イ) PDF ファイルでお送り頂く場合：

PDF ファイルで 5 MB まで。

そのファイルをそのままこちらで登録します。

ウ) MSWord , 一太郎などのファイルでお送り頂く場合：

A4 サイズで 100 頁まで。そのファイルを本センターでそのまま PDF ファイルにしますが、以下の 2 点にご注意下さい。

- (i) ごく稀に、完全に PDF できない場合もございます。そこで発生する誤り等は、ご容赦下さい。誤りがご心配な方は、ご自身で PDF にして下さい。
- (ii) 必要に応じて現地語フォントを利用くださって結構ですが、こちらで PDF 化できない恐れがあります。利用者の環境によっても、再生時に文字化けが起こります。日本語でも珍しいフォントを使えば文字化けする点を予めご了承下さい。

⑥ 一人の方が登録できるデータの上限

1 件のデータの最大サイズは、途上国でのダウンロードの都合などを鑑みて 5 MB までですが、一人の方が登録できる情報の全体容量は特に、制限いたしません。

⑦ お送りいただくものと方法

データ 1 件ごとに、以下の 3 点がひとまとまりとお考え下さい。

1. 電子アーカイブへ登録するデータ
2. 登録データのプロファイル
3. 電子アーカイブにおけるデータ公開に関する承諾書

1 と 2 は、データ 1 件ごとにフォルダを分けて、CD-Rom ないしフロッピーディスクでご提出下さい。特に、現地語フォントを利用して再生できない恐れが大きい場合には、ハードコピー（印刷して出力した物）を添付して頂けたら幸いです。

3 は、ボールペンで記載してお送り下さい。1 つの承諾書に、複数の資料名を記入しても差し支えありません。

送り先住所

〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1

筑波大学教育開発国際協力研究センター「派遣現職教員サポート事業」係

お手数ですが、何卒ご協力の程、よろしくお願い致します。